

一般質問

令和3年3月定例会

一般質問

～ 11人の議員が市政を問う～

※ 一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

P 10 板倉 正和 議員

- 共生社会実現に向けて
- 中小企業、小規模事業者支援に向けて

P 10 山崎 雄平 議員

- 渋川市の農業について
 - 1 遊休農地・耕作放棄地
 - 2 農業従事者の現状
 - 3 新規就農者と事業継承
 - 4 養蚕の現状について

P 11 田邊 寛治 議員

- 市長レビュー 高木市政がもたらした功罪
 - 1 渋川市役所の現状
 - 2 高木市長の政治手法と背景について
 - 3 財政と新型コロナウイルス感染症対策について

P 11 角田 喜和 議員

- 学校給食共同調理場の運営について
- 医療・介護・福祉の充実について

P 12 加藤 幸子 議員

- 新型コロナウイルス感染症対策について
- コロナ禍の保育について
- 高齢者の足の確保について
- 美術館のあり方について

P 12 田村 なつ江 議員

- 市民の健康と生活を守るまちづくりを
 - 1 新型コロナのワクチン接種
 - 2 健康寿命の延伸に向けた取り組み
 - 3 市長選出馬について

P 13 山崎 正男 議員

- 新型コロナの拡大期における対応について
 - 1 観光施策
 - 2 農林業施策
 - 3 自治会活動

P 13 山内 崇仁 議員

- 渋川市の魅力発信
- 学校のGIGAスクール構想

P 14 田中 猛夫 議員

- 学校のリスクマネジメントについて
- 財政の健全化について

P 14 安力川 信之 議員

- 共生社会実現のための行政の役割
- 予防接種について

P 15 須田 勝 議員

- 市民のしあわせが第一
 - 1 今後の市政推進は
 - 2 終活者支援
 - 3 共生社会実現

一般質問の詳しい内容は、会議録検索システムまたは議会放映システムをご覧ください。渋川市議会ホームページからご覧いただけます。



板倉 正和

共生社会実現の

まち渋川市を目指して

共生社会実現に向けて

質問 渋川市が掲げる共生社会の理念を理解してもらい、共生社会実現に向けた本市の取り組みは。

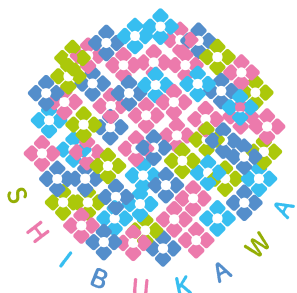
総合政策部長 意識の共有と高揚を図るためシンボルマークの作成、広報紙への取組掲載、パンフレットの毎戸配布に取り組みました。

質問 「共生社会実現のまち渋川市」推進のために共同宣言の締結を行った。どのような団体とどのような取り組みを進めるのか。

総合政策部長 福祉や産業関係団体に賛同をいただき、シンボルマークステッカーの掲示や団体独自の取り組みを促進しています。

質問 本市で「心のバリアフリー」を進めるため、物理的なバリア、制度的なバリア、文化、情報面のバリア、意識のバリアに対して、どのような取り組みを進めるのか。

総合政策部長 心のバリアフリー研修による人的サポート、パートナーシップ宣誓制度、国際理解講座などの取り組みを進めています。



共生社会実現のまち
渋川市

中小企業、小規模事業者支援

質問 ワクチン接種をすることで経済の持ち直しが期待できるが、本市の経済情勢の変化とワクチン接種の関わりを考えは。

産業観光部長 ワクチン接種に加え、来店型店舗での環境整備への支援及び国の第3次補正等の動向を注視し、支援を継続します。

質問 今後の感染防止対策と経済活性化対策の本市の見解は。

市長 小規模事業者を中心に厳しい状況で、国、県、市で対策を講じており、経済活動再開に向けて、ワクチンの接種も重要と考えます。



山崎 雄平

渋川市の農業の現状と展望

質問

世界中が新型コロナウイルスで大変な日々だが、人は毎日食べなければ生きていけない。食糧、人の命を守り、国土の保全、水と緑、命の産業である農業の一部、養蚕の現状は。

産業観光部長 養蚕農家戸数は、平成30年度から令和2年度まで変化なく6戸で、年間繭生産量は多い農家でも500kgです。

質問 養蚕業に対する行政の保護と指導体制は。

産業観光部長 県と共に養蚕・製糸業の持続的発展を推進するため、繭生産確保対策や製糸経営対策等の施策を実施しています。

質問 毎年全国で増え続けている遊休農地、耕作放棄地の本市の現在の状況は。

産業観光部長 平成28年度が126ha、平成29年度が137ha、平成30年度が183haであり、遊休農地が増加している状況です。

質問 高齢化が進み、農業従事者の先細りが懸念されるが、現状は。

産業観光部長 農業従事者の平均



春の農作業

年齢は平成17年64・1歳、平成22年66・4歳、平成27年67・2歳で高齢化が進んでいる状況です。

質問 新規就農者の状況と、農業従事者の世代交代に伴う円滑な経営の継承は。

産業観光部長 群馬県新規就農実態調査によると、平成30年度は7人、令和元年度は3人、令和2年度は5人で、少ない状況です。農業者は、経営計画の一環として、事業継承を念頭に置き、具体的に行動に移すように働きかけることが重要だと考えます。

一般質問



田邊 寛治

高木市政がもたらした功罪

質問 組織機構と人事における総合政策部長、建設部長、副市長の早期退陣の理由は。

市長 まちづくり財団の組織づくりや県と連携した大きな事業など、さまざまな人材を積極的に活用して政策を進めています。

質問 市長戦略部長の特命の役割とは。

市長戦略部長 懸案事項や新しい行政需要に対する全庁横断的な調整、喫緊の課題である新型コロナ対応など、多岐にわたっています。
質問 市長随行において、市長戦略部長のラインとスタッフの使い分けは。

市長戦略部長 随行業務に限らず部長のライン職と政策主監という意思決定者を補佐するスタッフ職を兼ね職務に当たっています。

質問 職員の休職者が12市トップ2・2%であるが、状況と今後の対策は。

市長 正しくは1・2%です。誤りがありました。コロナ禍で現場のストレスも高まる中、職員が健



市役所の職場の様子

康で働けるよう努めていきます。

質問 市長発言によって業務の混乱と責任転嫁がされたが、発言と責任をどのように捉えているか。

市長 市長として責任を持った発言をしています。業務混乱や責任転嫁などはなく、事実に基づいた正しい発言をしていただきたい。

質問 コロナ感染症収束後の財政予想は。

市長 市民生活が不安定にならないように財政の健全化を維持し、中長期的な視野に立って財政運営をしていきます。



角田 喜和

南部学校給食調理場 民間委託やめよ

質問 4月から南部学校給食共同調理場は民間委託となるが、委託には反対である。直営で運営すべきと考えるが。

教育部長 調理や配送業務を委託することで、民間の豊富な知識や技術等を活用し、質の向上に努めます。また、栄養教諭等が専門性をより発揮できるよう、食の指導

等の充実を図ります。管理運営は今までどおり市が行い、374万4000円の経費が削減されます。

質問 榛東村では、子どもの医療費無料化を18歳まで拡大した。渋川市でも子どもの医療費無料化を高卒卒業まで拡充を願う声がある。実施すべきでは。また、実施した際の必要額は。

市長 さまざまな子育て施策を具体的に勘案しつつ重点をどこに置か検討が必要です。国へ働きかけて福祉ペナルティが一部解消されましたが、今後も全面解消に向けて努力し、それを含めた中で無料化拡大を検討したいと考えます。
スポーツ健康部長 年間約673



加齢による難聴、補聴器購入に支援を

8万円の増額が必要の見込みです。
質問 高齢化に伴う難聴は、認知症につながる。対策として補聴器購入への支援の考えは。また、公民館等への磁気ループ活用への考えは。

福祉部長 補聴器購入への支援は、身体障害者手帳所持者及び障害児に対する補助制度はありますが、加齢に伴う難聴者への支援はありません。国で進めている聴覚障害の補正による認知症予防効果の検証に注視していきます。磁気ループ活用は、今後研究していきます。



加藤 幸子

澁川市美術館・桑原巨守彫 美術館の今後の方向は

質問 澁川市美術館・桑原巨守彫刻美術館の今後の方向性について、美術館あり方検討委員会の提言が求めている「芸術の森構想」の原点にたち返り、現在地での継続運営も含め市美術館としての方向性を探り、十分に検討すべきである。

市長 街角美術館として群馬銀行の空き店舗を借用し活用してきました。老朽化による多額の経費が見込まれます。あり方検討委員会の答申や市民アンケートを踏まえ美術館存続と街中の公共施設では第二庁舎が適切かと考えています。場所については今後検討します。

コロナ感染症対策にPCR検査を質問 コロナウイルス感染者が発生してから1年となり、国は社会的検査の通達を发出了が、群馬県はしていない。コロナ封じ込めのために、市長は医療機関、高齢者・障害者施設、保育所等のPCR検査を県に求めるべきでは。

市長 PCR検査によって安心できる反面、検査に頼っているだけでも感染は防ぎきれないのが現状



美術館の方向性は

です。PCR検査については今後必要性を考えながら県と相談し、要望していきたいと考えます。

質問 コロナ禍での保育所最低基準の見直しが求められている。特に4、5才児30人を1人の保育士で保育するのは密である。国へ改善の要望書を。

福祉部長 少人数保育の実施は、密集を回避するだけでなく、園児との関わりを充実させ、健やかな成長を育むことにつながるため、ほかの自治体と足並みを揃えて、要望していきます。



田村なつ江

市民の健康と生活を守るために

新型コロナのワクチン接種質問 接種に向けた市の準備状況と現在懸念される課題は。

スポーツ健康部長 新型コロナワクチン接種対策室を設置し準備を進めています。ワクチンの供給が不安定のため市民への周知のタイミング等課題があります。

質問 スケジュール管理、マンパワリーの確保、高齢者等の移動手段についての考えは。

スポーツ健康部長 医師会の協力の下、マンパワーの確保に努めます。高齢者の移動手段も市民の立場に立った方法を検討します。

健康寿命の延伸に向けた取り組み質問 ウォーキングチャレンジ事業の参加状況とその成果は。

スポーツ健康部長 492名の市民の方が参加し、終了時のアンケートを提出してもらいました。成果については集計・分析を行い次年度に生かしていきます。

質問 ウォーキングの指導等がなく膝を痛めた人もいます。事業実施には十分配慮し、丁寧に実施する



接種準備に向けて

必要があるのでは。

スポーツ健康部長 今後はより工夫した内容を考えていきます。

質問 健康無関心層へのアプローチのものにならなければ一部の人だけのものになってしまうのでは。

スポーツ健康部長 参加者から無関心層も含む周囲の方々へ広めてもらうことを期待します。

市長選出馬について質問 市長選への決意は。

市長 市政への強い責任感、使命感を持って、市の未来のため引き続き全力を尽くしてまいります。

一般質問

※コミュニティ・スクール

学校運営協議会制度のこと。学校と地域住民が力を合わせて学校の運営に取り組む仕組み。

※義務教育学校

小学校から中学校までの合計9年間の義務教育課程を一貫して行う学校のこと。



山崎 正男

新型コロナの拡大期の対応

質問 宿泊費助成の成果は。

産業観光部長 宿泊施設は衛生管理対策を講じるなど受入環境を整備し、3000人を超える市民の利用がありました。バランス良く全旅館が助成対象施設として参加できるよう関係機関と協議します。

質問 しぶかわ元気券やあじさいクーポンなど、今後は利用店、利用対象範囲等を広げる考えは。

市長 利用勝手と中小企業者、飲食事業者への効果について、この2つを限られた期間に行うのは、非常に難しいところもありました。これからも議員の指摘を踏まえ、いろいろな方策を考えていきます。

質問 大幅な観光客の落ち込みで大変な観光農園等に支援の拡充を。

産業観光部長 農業者経営継続応援事業として3万円の応援金を交付し、渋川広域農業活性化推進協議会では、ブルーベリーのPRを行いましたので、今後の状況を見ながら対応をしていきます。

質問 回覧板は回覧中止なのだから、広報しぶかわの発行を月1回

にしてもいいのでは。

市長戦略部長 経済対策など市のコロナ対策を速やかに伝えるため、月2回発行を継続しました。発行回数については、今後さまざまな意見を伺い検討を行っていきます。

質問 遊休農地の活用のため、自然に優しい太陽光発電の施設の申請処理等を早くできないか。

市民環境部長 条例の趣旨にのっとり、自然環境や景観等と調和のとれた設備となるよう、すべての計画を審議会へ諮問し、適切に進めます。



観光バスが消えた観光農園

質問 若い世代（子育て世代）の定住者を増やすための子育て支援策は。

福祉部長 保育料の無料化、保育体制や相談体制の充実など安心して子育てできる環境整備を進めています。また、本市の子育て環境の魅力を市内外へ発信します。

質問 コミュニティ・スクール、義務教育学校について、本市の考えは。

教育長 地域とともにある学校の実現を目指して、コミュニティ・スクールの導入に向けた準備を進めます。また、義務教育学校について慎重に研究していきます。

質問 新型コロナウィルス感染症の収束を見据えた交流人口対策は。

産業観光部長 温泉資源、観光施設を活用し、ワーケーションやマインクルーズムによる長期宿泊滞在者を増加させ、交流人口を創出し、地域の活性化を図ります。

質問 旧小野上中学校をシェアオフィスや演劇、吹奏楽、美術等の部活の補完ができる交流施設にで



山内 崇仁

渋川市の魅力発信

きないか。

総務部長 旧小野上中学校を利活用するためにはさまざまな制約もあります。小野上地区の振興にも寄与するものと考えられることから、組織横断的に検討します。

質問 市のユーチューブチャンネルは、定住者向けなのか観光者向けなのか分からない。目的を持つものにはできないか。

市長戦略部長 観光、移住促進など目的により誰に何を伝えたいのかを明確にし、見る人の立場に立った動画製作を心がけていきます。



旧小野上中学校の利活用を



田中 猛夫

安心・安全な学校づくり

質問 学校は、安全・安心な環境を提供しなければならない。学校で発生した事件、事故の件数は。

教育部長 令和元年度中の事故は、交通事故10件、一般事故40件となっています。事件については、生徒指導上の問題行動として、毎年数件の報告を受けています。

質問 学校での事件、事故を未然に防止するための教育委員会と学校の取り組みは。

教育部長 各学校ごとに危機管理マニュアルを作成し、教職員の役割を明確にして事件・事故の未然防止に取り組んでいます。また、起こりうる危険を想定し、教育委員会から注意喚起を行っています。

質問 スクールアドバイザー派遣の必要性について、どのように判断し、派遣を決定するのか。学校には、指導主事が置かれているが、どのように職務を調整するのか。

教育部長 校長からの要請を受けて指導主事が状況を確認し、教育委員会での派遣の必要性を判断します。その際、児童生徒や教職員、保護

者等に対して、どのように対応していくとよいかアドバイザーと連絡調整を図ります。

財政の健全化について

質問 新市建設計画の財政計画では、今後5年間の合併特例債の使用額を48億4000万円程度としている。市の財政状況下での限度額と考えているのか。

総務部長 今後、大型事業の検討を進めていく中で、その財源としてほかの起債よりも有利な合併特例債を活用していくことも考えていて、限度額とは考えていません。



小中学校にスクールアドバイザーを設置

共生社会とは

質問 市長が目指す共生社会の理念は。その実現のための具体的な取り組みは。

市長 すべての人がお互いを尊重し支え合い、安心して暮らせる社会の実現を理念に市民が一緒に考え、気付くための「心のバリアフリー」研修を開催しました。

質問 本市のジェンダーフリーの考えは。

市長 あらゆる場面において、すべての男性・女性が平等で人権が尊重され、持てる能力が発揮できる社会を目指します。

質問 小中学校での平等教育の考えは。また従来の学級名簿から男女混合名簿に推進すべき。

教育部長 誰しもが不当な差別を受けることがないように、さまざまな人権や平等に目を向けた教育を推進していきます。また議論を深めながら男女混合名簿を推進します。

質問 市職員の障がい者雇用の推進を。

総務部長 障がい者が勤務を続け



安力川信之

共生社会実現のために

られるよう障がいの特性に応じた配置、職場環境の整備等を行い、雇用を進めていきます。

防げる病気を防ぐためのワクチン接種を

質問 80歳までに3人に1人が带状疱疹を発症する。ぜひ公費助成で予防効果の高い带状疱疹ワクチン接種を。

スポーツ健康部長 带状疱疹ワクチンの有効性や安全性などの情報収集を行い、国の動向を注視しながら、市における任意接種の助成について研究します。



市職員を対象にした、障害平等研修

一般質問

福祉部長 相談件数が増加傾向にある中、専門職による無料相談会を定期的に開催し、相談体制の拡充に努めました。制度概要を示したリーフレットやガイドを作成し、広報・周知に努めており、窓口は市役所のほか、各地域の包括支援センターでも相談に応じています。



元気なうちに制度の活用を

今後の市政推進は 正式に出馬表明した高木勉市長。2期目継続に向かっての市政推進について。

市長 就任以来、市民の幸せと渋川市発展のため、持てる力をすべて注ぎ、日々全力を尽くしてきました。コロナ禍で舵取りの厳しい中ですが、愛する渋川の未来のために、「渋川再生」をさらに加速していきます。今後も強い使命感と責任感を持って、私利私欲のない市政を全力で進めていきます。

終活者支援 成年後見制度の相談状況と利用促進に向けた周知、相談体制の拡充についての考えは。

共生社会実現 共生社会実現に向け、市民への周知・徹底と男女共同参画で女性の社会進出の障壁は。

総合政策部長 ユニバーサルデザインを学び、気付き、気遣いにつなげる心のバリアフリー啓発パンフレットの毎戸配布、広報、新聞などに加え、共同宣言の署名団体の協力を得るなど多方面からの周知を行っています。

市長 女性の参画を進める上で、女性に向いている仕事と決めつけるような風潮があるので、意識改革が必要であると考えます。



須田 勝

市民のしあわせが第一

令和3年6月市議会定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
6/6	7	8	9	10	11	12
				本会議 (開会・議案上程)	本会議 (議案上程)	
13	14	15	16	17	18	19
	一般質問	一般質問	一般質問	常任委員会 (総務市民) (経済建設)	常任委員会 (教育福祉)	
20	21	22	23	24	25	26
	常任委員会 (予算)	休会	本会議 (表決・閉会)			

○本会議は午前10時から開会します。

○日程は変更されることがあります。ホームページ等でご確認ください。

議会報編集委員会委員紹介

市民の皆さんに市議会の活動を身近に感じていただけるよう、分かりやすい紙面を目指し精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。

前列右から、加藤幸子委員、山内崇仁委員長、反町英孝副委員長、田村なつ江委員
後列右から、池田祐輔委員、山崎正男委員、田中猛夫委員

